

特集 専修大学のトリプルサポート

キャリアデザインセンター

キャリアデザインセンターは「自己理解」「社会理解」「能力開発」を基本としたさまざまなプログラムと、各種コンテストの開催、個別相談(キャリアカウンセリング)などで、学生が「なりたいたい自分」の姿を自分らしく作り上げることをサポートする。PBL(課題解決型学習)では、「自らで考え抜く力」「チームで働く力」を養成する。

ベンチャービジネスコンテスト 鳳賞に小山田さん 9組がプラン発表



「ほめポ」をプレゼンテーションする小山田さん

小山田さんは、親子間のコミュニケーションを促進するアプリ「ほめポ」を提案した。スマートフォンを活用した新しい形の交換日記サービスで、親子をつなぐことに加え、「ほめられること」で自分に自信を持ち、自己肯定感を高めることになるとアピール。鳳賞と合わせて、審査特別賞のブルーチップ賞を受賞した。小山田さんは、アプリの実現に向けて、現在はプログラミングの勉強に取り組んでいる。事業の継続性など、まだまだ考えなければならぬ部分があるので、今後このプランを詰めていきたいと意気込みを語っていた。

起業を目標とする。優秀賞は、ごみ問題を学ぶポドグレイムを考案した専大附属高校チームが受賞。育友会長特別賞は、就職後学生と企業のミスマッチをなくすことを目的とした新しい自己理解の場を提案した井口慧さん(二部経済4)のチームが選ばれた。細谷翔矢さん(経営1)は一年次生で、最終審査に残り、恩田英久賞、池本正純賞の二つの審査員特別賞に選ばれた。「二校生の時、父の蔵書を読み、起業に興味を持つようになった」と、今年度開設したばかりの経営学部ビジネスデザイン学科で学んでいる。発表したプランは、伝統工芸品のネット販売と職人と顧客を結びサービスを提供し、地域の活性化を目指すもの。「審査員の方からいろいろ意見をいただいたとき、学科の1期生として期待されていることを感じた。今後も精進していきたいと話した。

一人一人の夢の実現を支援

専修大学では学生一人一人と向き合い、専門スタッフがきめ細かな支援を行っている。希望の進路に向け多彩な支援策をサポートする「就職課」、自分を知り社会を学び職業観を育む「キャリアデザインセンター」、

就職課

独自のシステムで 就活の不安を解消

膨大な数の企業情報やベテランから学生に近い多彩な就職支援プログラムを提供し、個別相談、模擬面接などを進め、学生一人一人の希望の就職かな指導を行う。独自の就職支援システム

エクステンションセンター

エクステンションセンター(以下欄参照)では生田、神田の両キャンパスで公務員試験講座を開講し、毎年多くの受講生を合格に導いている。基礎から段階的に学ぶことで実力を養成することももちろん、広く社会で通用する知識やコミュニケーション能力も身につけている。今年度、公務員試験合格を果たした4年次生入と講師3人に、講座の内容や魅力、学業との両立のポイントなどについて語ってもらった。(敬称略)

公務員試験講座



座談会で講座の魅力語り合う久保山さん、高須さん、中村講師、石川講師、朱講師(左から)

◆エクステンションセンター 法曹や公認会計士などの難関資格や、公務員試験合格を目指す学生を支援する。多彩な講座を比較的低価格で開講しており、その多くは外部の受験指導専門学校などに通うより、実績のある専門家の講義を受けることができ、効果的、経済的に勉強できる。 高須 2年次で特別区の説明会に参加し、「ここで動きたい」との気持ちで勉強しています。 石川 モチベーションの維持がとても重要ですね。単に「公務員になりたい」ではなく、「公務員になることで国や自治体をどのように良くしたいのかを考えたとき、日々のニュースを見てみると、面接でもしっかり受け答えができます。 近年は公務員も人物評価が重要視されています。 中村 学生には「専大カラー」のようなものがあって、似たような意見になってしまったり、しかし本番の試験ではいろいろな人が集まります。講座ではあえて、初めての人同士でグループを作って意見を戦わせるようにしています。 最近「公務員試験講座があるから専大を選んだ」という学生が増えています。我々は、学生の背中を押すためにいるのだから、積極的に関与するなど「がんばってほしい。 将来に迷うなら 受講してみよう ーとほいえ、なかなか将来が決まらない学生も多いのでは。 石川 迷うならやってみたら、と言いたい。公務員試験を受かっても必ずしも公務員にならなくてもいいです。3年次になったから公務員試験対策に着手したのではかなり難しい。しかし、早いうちから受講する

キャリア選択の可能性広がる

公務員試験対策が始まりますので、3年次で完成を目指し、学生の様子を見ながら指導します。結果が出るまで学生に寄り添います。また、国家公務員を目指すている人にはハイレベルコースと国家総合職選抜コースが用意されています。 高須 授業を考慮して、3年次の1年間という短期間で終わらせたい。アルバイトやゼミ、進路のことやゼミ、進路のことを、エクステンションセンターの方や朱先生に相談していただきました。顔の見えない関係が良かったので



2年次生が受講する実戦力養成講座

学内講座だからじっくり学べる 石川 経済学的に言えば、時間的にも金銭的にもコストが低いのが学内講座のメリットです。 朱 多くの受験指導専門学校では3年次の1年間という短期間で終わらせます。その点、専大の公務員試験講座は2、3年次で学習しますので、じっくり取り組むことができます。 中村 少しでも早いうちから当事者意識を持つことが大事です。説明会やインターシップにも積極的に参加してほしいものです。

京都府知事 西脇 隆俊 京都府は南北に細長を超えて歴史の中で培われてもありません。更に、京都府では、就職後の奨学金返済を支援するため、「奨学奨学」を創設し、企業と一体となって、専修大学をはじめ、学生の皆様の府内企業への就職を後押しする体制を整えています。 2018年11月、専修大学と就職支援協定を締結しました。この協定を軸として、今後更に、府内企業の情報発信や京都府に向けて、より効果的な取り組みを積極的に進めてまいります。 未来を担う専修大学の皆様、府内企業への就職を心より期待申し上げます。 専修大学と専修大学との協定を締結し、今後更に、府内企業の情報発信や京都府に向けて、より効果的な取り組みを積極的に進めてまいります。 未来を担う専修大学の皆様、府内企業への就職を心より期待申し上げます。 専修大学と専修大学との協定を締結し、今後更に、府内企業の情報発信や京都府に向けて、より効果的な取り組みを積極的に進めてまいります。 未来を担う専修大学の皆様、府内企業への就職を心より期待申し上げます。

就職課から 3年次生へ2月3日、生田、神田両キャンパスで実施する「ガイシャ」を兼ねた「ガイシャ」を実施します。2021年(月)4日(火)に第2回「知って得てセミナー」の参加企業一覧を配布します。 就職ガイダンスを実施し、企業の一覧を配布します。同日には、就職解禁 企業ホームページを禁裏面フェースも開通され、誰でも簡単に企業情報を入手できる絶好の機会です。本格的な就職活動を手がかりに、ぜひこの機会を捉えてください。 また、卒業生の進路が動す前に、筆記試験対策がそれぞれガイシャ知って得て、業界・企業研究、面接ミニナードです。こちらにもぜひ参加してください。 課に、進路相談を提出し、必ず参加してください。 4年次生へ就職活動してください。

【生田キャンパス】 公務員試験入門講座 実戦力養成講座 合格力養成講座 1年目 2年目 3年目 【神田キャンパス】 憲民刑入門講座 基礎力充実講座 実力完成講座 1年目 2年目 3年目